

Moodleでコミュニケーション中心の e-learningを実現

－ 事例と3つのポイント －

講師：松田 岳士 先生
(青山学院大学 客員准教授)

2009年5月26日(火)

15:00～16:00

参加予定

- ・大学FD委員会
- ・経済/国際 両学部教務部委員会
- ・コンソーシアム支援委員会
- ・上記以外の教職員

* ご興味のある方は、どなたでもご参加いただけます。

3号館 3505 CALL教室

本コンソーシアムは、千葉圏域に拠点を置く4つの大学、敬愛大学、千葉大学、神田外語大学、城西国際大学が連携してユニバーサルコミュニケーション教養教育カリキュラムを構築し、共有化していこうというものです。

本講演は、上記教育教材を開発していく上で基盤となるeラーニングシステム「Moodle」の導入に際し、基礎的な知識と、簡単で効果的な授業の実践方法についてお話いただきます。

特に、e-learningの活用において、どのような具体的なメリットがあるのかをご紹介します。本講演は、e-learning未経験の方でもわかりやすい内容となっておりますので、どうぞお気軽にご参加下さい。

敬愛大学 フカルティ・ディベロップメント (FD拡大委員会)

石橋嘉一（本学特任教員）

松田岳士先生：青山学院大学大学院

社会情報学研究科 客員准教授

博士（国際コミュニケーション）

九州大学を卒業後、日米の放送局勤務を経て大学院に進学し、研究職へ転職。現在の専門は、教育工学およびコミュニケーション。eラーニングをはじめとするICT活用教育における教育/学習活動をコミュニケーション過程としてとらえ、学習支援のためのコミュニケーション、メディアの役割、学習効果の評価方法を研究している。

戦略的大学連携支援事業「ユニバーサルコミュニケーションのための教養教育に向けた
千葉圏域コンソーシアム」（敬愛大学コンソーシアム第3回FD）

【学内問い合わせ先】

〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21 敬愛大学戦略的大学連携支援事業 支援プログラム担当

特任教員 石橋嘉一（y-ishibashi@u-keiai.ac.jp）・望月由紀（y-mochizuki@u-keiai.ac.jp）

研究室：3号館613号室 内線（1520）